

# クリントートCEの効果確認試験

JAきたそらち

株式会社 小倉農園



慣行品



試験品



試験品(右)と慣行品(左)



全体図

## 試験目的

クリントートCEの効果確認試験

## 試験作物及び品種

きゅうり

## 試験資材及び数量(規格)

クリントートCE(0.08mm×840cm×82m)

## 慣行資材

クリントートFX

## 栽培方法

定植日	収穫日
慣行区:5月中旬 試験区:5月中旬	慣行区:6月中旬 試験区:6月中旬

## 資材使用期間

4月中旬～10月末日

## 試験区面積

7500㎡

## 試験結果

- (1)作業性について(慣行品との比較)**  
通常の0.1mmのPOフィルムよりも軽いので作業性に優れている。
- (2)作物の生育状況または、収穫への影響**  
あまり影響がないように感じた。
- (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について**  
【優位点】：非常に軽かった点
- (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について**  
1年であれば問題は無いように感じている。
- (5)促成・抑制効果について**  
収量に影響があるような差は無いように感じた。
- (6)保温効果について**  
5月末高温になった時に0.1mmと比べ少しヤケが発生した。  
急激にハウス内の温度が上がる可能性があると考えられる。

## モニター感想

0.08mmと薄いフィルムなので、軽くて作業性に優れていた。  
また、従来の薄いPOは0.075mmであったが、CEは若干厚くて価格も同じで、透明度が高いタイプなので、製品の優位性を感じている。

### JA担当者の感想(資材推進課 伊藤 氏)

今年度、生産者のコスト低減、作業の省力化を図る資材ということで、きゅうり部会で広域的な試験を実施したが、作業性において高い評価を得ることができた。

但し、厚みが無い分パイプやバンドとの擦れなどの影響は受けやすい可能性があるため、2年目以降の物性についても確認していく必要がある。

また、終盤の寒い時期などに0.1mmの厚みのフィルムとの差が出ないか等も確認していく必要があると感じている。

## 今後の使用について

継続して使用したい。

1 高温対策

2 害虫忌避効果

3 調光フィルム

4 クリントート

5 機能性マルチ

6 育苗資材

7 不織布

8 その他